

「バイオものづくり革命推進事業」プロジェクトに関する意見

ファーマフーズ株式会社 殿

令和6年12月6日

産業構造審議会 商務流通情報分科会 バイオ小委員会
バイオものづくり革命推進ワーキンググループ

本ワーキンググループで実施した議論を踏まえ、貴社におかれては、プロジェクト推進に当たって以下の点に留意のうえ、今後のモニタリングにおいて、その対応について報告されたい。

- ・ 経営のコミットメントに関して、経営側での課題感が見えにくい。現状で行き詰まっている点と解決の方向性も示していただきたい。
- ・ ルール形成や標準化に関しては事業の海外展開の視点を入れて検討すべき。
- ・ オープン＆クローズ戦略について、特に、クローズ戦略の部分で、技術をノウハウとして秘匿化し、特許化はしないという方針を示されているケースが見られたが、社内での適切なノウハウ管理を行うことを前提としつつ、海外含む他社による知財化のリスクも勘案しながら開発を進めてほしい。
- ・ 本業と異なる分野への製品・原料供給を進めていくため、現時点でコンソーシアムに入っていない企業に参画を募るなどの対策が必要ではないか。オフテイカーとなる企業とも綿密なコミュニケーションをとりながら、オフテイカーの意向に沿った形で製品開発を進めてほしい。
- ・ 出口の三つの用途について、それぞれの強み／優位性がわかりづらい。現状は定性的な表現にとどまっており、優位性を定量的に示すことが必要。
- ・ 標準化専従の役職／チームを置くなど、標準化等に向けた体制整備をしっかりと行ってほしい。
- ・ 3つのプロダクトの開発計画において、明確なKPIを設置した上で時間軸も含めた具体的な計画立案とそれに対する開発進捗の管理を遂行してほしい。

以上